



図 3

Table with columns for patient ID, name, gender, age, and status. It lists various patients and their associated data points.

図 4

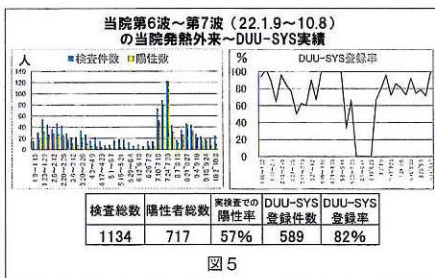


図 5

QR code and contact information for DUU-SYS, including a URL and a phone number.

①毎朝まず(図4)を見て前日分(だけ)の回答を選択し、各患者の病状を把握し印刷します。

②その後(図2)の「メール配信システム」を開きます。印刷用紙を見ながら回答者の病状に合わせて、選択して送信します。

③当院では多いときには1日に20人くらい、1週間に120人以上の陽性者が出ました。日々の作業は単純作業の繰り返しで、毎朝開始した時間は15分くらいでした。

④スプレッドシートはエクセルにダウンロード可能です。それぞれ個別表示や統計処理ができます。

以上、DUU-SYSによって、患者さんの病状を日々の確に把握し、患者さんへの不安感に対処でき、スマートフォンでも可能です。お互いに操作が簡単です。なお、1日に、通常は100回まで最大では500回まで配信可能です。

他で、特に病状が心配な方・スマホを扱えない方には別途電話連絡を行っていました。

②患者さんへの質問も超々録しています。期間中、超々死者も含め管理し辛いのも死者は少なかった。4月に行っていた利用者アンケートでは9割が「DUU-SYSは役にたいた」と評価されています。

③集団免疫効果の減弱化も見解があります。8波やインフルエンザとのインデックスも十分予想されます。特に高齢化率が高い日本では、今後毎年1万人程度の死者が出るという予測もあります。

④「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑤「質問票」の回答結果は、やはり自動的に(図4)のスプレッドシートに既で表示されます。患者さんの体温、症状、重症の症状、酸素飽和度や訴えが一目でわかり、病状把握が可能です。

⑥「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑦「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

DUU-SYS

新型コロナウイルス発熱外来で

ITツール、DUU-SYSの活用を

どうたれ内科診療所 堂 垂 伸 治(昭60)

(はじめに)

この原稿は22年10月初旬の知見に基づいて書いています。新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)が発生して3年近くになります。現時点での感染者数は2100万人以上、死者数は450万人以上、死者数は150万人に迫る人数です。

①「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

②「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

③「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

④「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑤「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑥「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑦「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑧「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑨「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

⑩「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。

QR code and text for DUU-SYS, including a QR code and a URL.

図 1

Table with columns for patient ID, name, gender, age, and status. It lists various patients and their associated data points.

図 2

しかし、コロナ禍ではこの仕組みを活用せず、保健所中心のスキームとなつていきました。感染当初の小規模流行の「クラスター対策」は、このスキームは有効であったとしても、このスキームは有効ではなかった。しかし、大規模流行には追い付いていません。

保健所の本来業務は、地域でのマクロな保健、パブリックヘルスを担うことであり個人の健康管理は荷が重すぎます。保健所に、自宅療養者個々の病状把握や入院判断を任せることはそもそも無理があります。

①「自宅死が頻発した」第7波では22年8月に全国で最大200万人の自宅療養者が出ました。「自宅死」も増え、第5波の21年8月に250人、第6波の22年113月には555人、22年8月には「全国で869人、過去最多」と報道されています。